

基準 8 施設・設備

(1) 観点ごとの分析

観点 8-1-①： 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、適切な安全管理の下に有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化や環境面への配慮がなされているか。

(観点にかかる状況)

本校の施設概要は、(資料 8-1-①-1～2) に示すように、高等専門学校設置基準により必須とされる校地・校舎や施設・設備を有し、また管理されている。

大規模教室として、大講義室(面積 218 m²)、メディアホール(面積 252 m²)、合併教室(面積 130 m²)があり、複数クラス同時講義や各種講演会に対応できるようになっている。また、語学教育にも対応可能な e-ラーニング室(面積 95 m²)にはパソコン端末機を備えている。さらに、主として機械工学科における工作実習に使用される機械実習工場は、同授業以外には教員の研究はもちろんのこと、本科(準学士課程)卒業研究や専攻科特別研究を遂行するのに必要な実験装置や器具の製作等にも対応できるようになっている。

一般教育棟、各学科棟及び専攻科棟内の全教室と上記の大規模教室には、スクリーンと天井吊り下げ型プロジェクターを設置し、プレゼンテーションを伴う授業にも対応できるとともに、空調設備も完備されており、1年を通して快適な学習環境を提供している。

また、教室を含むこれらの施設設備は、教育課程のなかで有効に活用されている(資料 8-1-①-3～4)。

また、地域連携テクノセンターには、超高分解能電子顕微鏡システム、電解放射型走査電子顕微鏡システムなどの大型機器が備えられており、これらの機器は、学生の卒業研究・特別研究や工学実験等の教育研究活動のみならず、地域貢献として学外からの使用依頼や測定依頼にも応えている。

本校では、施設整備委員会による施設整備に関する年次計画に基づき、教室や実験室を有する主要な校舎、図書館、体育館及び福利施設等の玄関に車椅子用のスロープの設置や、トイレのバリアフリー化対策も行っている。

環境面への配慮としては、廊下やトイレの電灯には人感システムを導入するとともに、図書館閲覧室、食堂(福利施設)や第1体育館ステージ等においては、LED化への変更も逐次進めている。

情報関連施設としては、総合情報処理センター内に、1クラスの学生数以上の台数のパソコンを設置した演習室が3室と少人数用の演習室が1室の、計4室(パソコン台数151台)があり、同時に3クラスの授業が行えるシステムが整備されている。これらの演習室にも、スクリーン及び天井吊り下げ型プロジェクターが備えられており、情報処理教育、CADシステムを用いた製図教育のみならず高度な専門教育まで十分に対応できる体制になっている。

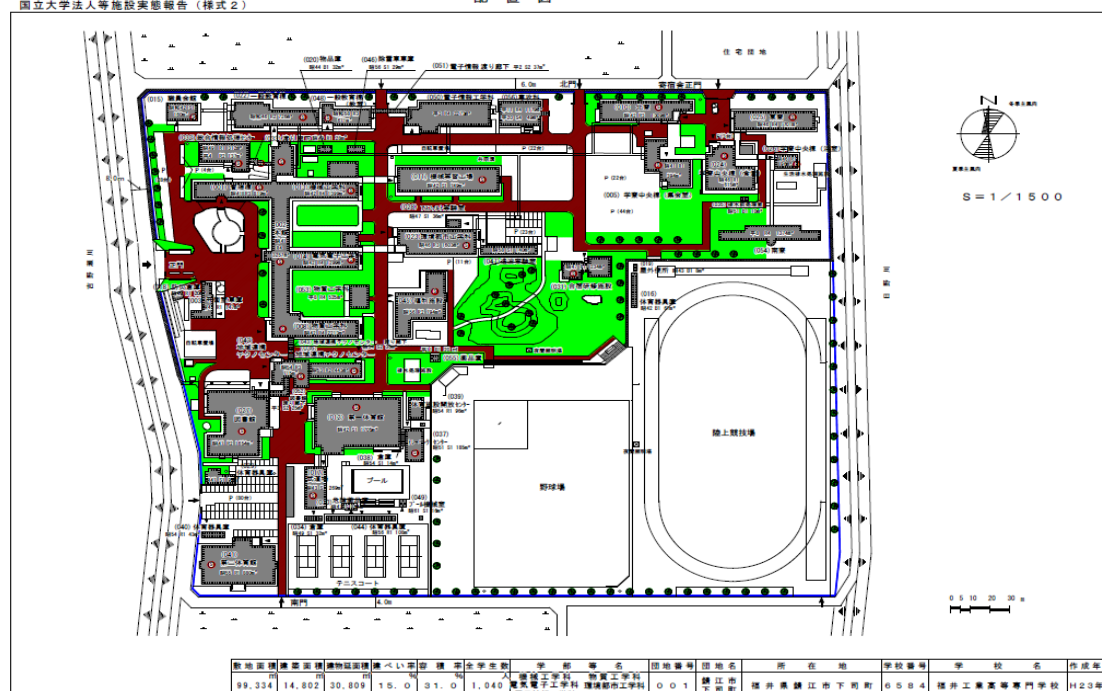
図書館には、学習に必要な専門図書をはじめ、一般教養図書、新聞、雑誌を多数そろえており、学習の援助はもとより、学生の教養を涵養できるようにもなっている。また、技術士資格取得や技術者倫理のコーナーを設け、技術者教育の一端を担っている。さらに、映画や音楽に興味を持つ学生のために、CD、LD、DVD、ブルーレイディスクなどの各種ソフトウェア及びそれらを視聴できるオーディオルームが設けられている。

学校全般の安全衛生面に関しては、安全衛生委員会を中心として毎年校内を巡視し、点検や評価を行い、必要に応じた改善提案を施設設備管理者に行っており、適切な学校環境の整備に努めている(資料 8-1-①-5)。

「施設配置図」

国立大学法人等施設実態報告（様式2）

配置图



(出典 総務課)

「施設実態調査(団地概要)」

地 概 要

[illegible]

(出典 総務課)

「平成24年度前期授業時間割表(特別教室用)(抜粋)」

		027	028	029	030	031	032	036	033	034
		合併教室	大講義室	ラーニング室	情報センター第1講義室	情報センター第2講義室	情報センター第3講義室	情報センター第4講義室	機械工学科製図室	実習工場
月	1				情報処理Ⅱ 9E 丸山	電子情報工学科第1 9E1 青山	電子情報工学科第2 9E1 青山	ソフトウェア構造学Ⅰ 4B 阿部	機械工学概論Ⅱ 2B 江本	機械工学概論Ⅱ 9E 総担当教員
	2									
	3			英語Ⅲ 2E 小室	ものづくり科学Ⅰ 1 ALL			構造デザイン 5B 吉田雅		構造デザイン 5B 吉田雅
	4									
	5					機械工学実験Ⅲ 3M 加藤寛	情報処理演習 3C 吉村忠	製造プロセス工学概論Ⅲ 4B 江本		
	6				C言語応用 3M 龜山達					
	7									
	8									
	9									
	10									
火	1		英語Ⅴ 5C 森貞		電子情報工学科第1 9E1 蓮田		情報処理Ⅰ 2E 末田	知能機械演習 4M 村中		知能機械演習 4M 村中
	2									
	3	物質科学 1PS/ES 西野		国語 9E1 中村・			本文学 5B 廣部			
	4									
	5		中国語 4M/9E1/E (前) 王	国語 9E 中村・	現代新理工学 9E 佐藤	創造工学演習 3M 加藤寛	情報化学 4C 吉村忠	製造プロセス工学概論Ⅲ 2B 江本		創造工学演習 3M 加藤寛
	6									
	7	ドイツ語 3M/E 廣重	中国語 9E1 (前) 王		ソフトウェア科学入門 1F4 平井		ソフトウェア科学入門 1F3 川上	数値解析 5B 阿部		
	8									
	9									
	10									
水	1	ドイツ語 4C/B 廣重	中国語 4C/B (前) 林				数値計算 9E1 村田	環境保全工学 5B 奥村	機械設計製図Ⅲ 3M 芳賀	
	2			英語Ⅰ 1PS 小室						
	3	ドイツ語 5C/B 廣重	中国語 5C/B (前) 林	英語Ⅳ 9E1 小寺	ソフトウェア基礎 2C 平井		新理工学Ⅱ 9E 佐藤	製造プロセス工学概論Ⅲ 4B 阿部		
	4									
	5	数学特講 5ALL 柳原	歴史学特講 5ALL 衣野	英語特講 5ALL 吉田三	ものづくり科学Ⅰ 1 ALL		ソフトウェア応用 9E1 斉藤	ものづくり科学Ⅰ 1 ALL		
	6									
	7									卒業研究 3M 加藤寛
	8									
	9									
	10									
木	1	英語Ⅴ 5M 森貞	現代英語 1PS/ES 山口	電子情報工学科第1 9E1 村田	機械工作実習 9E1 蓮田	ソフトウェア基礎 2E1 蓮田				機械工作実習 2M 加藤寛
	2							製造プロセス工学概論Ⅲ 5B 阿部		
	3		英語Ⅳ 4C 吉田三			情報構定論 9E1 斉藤		機械設計製図Ⅱ 1M 藤田		
	4	音楽 1P1 (前) 石井								
	5	音楽 1P4 (前) 石井								卒業研究 3M 加藤寛
	6	音楽 1P3 (前) 石井			ソフトウェア科学入門 1F2 平井					
	7		英語Ⅱ 2M 小室							
	8									
	9									
	10									
金	1	英語Ⅲ 5B 森貞	英語Ⅳ 9E 吉田三	電子情報工学科第1 9E1 蓮田	画像情報処理 2PS/ES 平井	創造工学演習 9E1 高久	機械計算力学 4B 五味	機械製図 2M 金田		卒業研究 3M 加藤寛
	2									
	3	音楽 1PS (前) 石井	英語Ⅳ 6M 小寺				構造デザイン 5B 吉田雅			
	4	音楽 1PS (前) 石井								
	5		英語Ⅳ 6M 小寺	C言語基礎 3M 龜山達		ソフトウェア科学入門 1F1 平井		機械設計製図Ⅰ 3M 安丸		
	6	英語Ⅲ 9E 森貞					アイデア設計工学 5B 田中嘉		アイデア設計工学 5B 田中嘉	
	7									
	8									
	9									
	10									

スペースの有効活用に関する取組状況（報告様式②）

法人名 国立高等専門学校機構(福井工業高専)

(出典 総務課)

別紙 1

(出典 施設整備委員会)

(分析結果とその根拠理由)

本校の施設・設備については、(資料 8-1-①-1~2)に示すとおり、高等専門学校設置基準において必要とされる校地・校舎・運動場等の施設、及び教育環境を考慮した各教室、教育用器具等の設備が全て適切に整備され、有効に活用されている。また、毎年定期的な校内安全巡視点検がなされ、常に適切かつ安全な状態を保つように配慮されている。

観点 8-1-②： 教育内容、方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが十分なセキュリティのもとに適切に整備され、有効に活用されているか。

(観点にかかる状況)

本校は校内 LAN を構築(資料 8-1-②-1)し、全ての教室がインターネットにつながる環境となっている。また、基幹であるコアスイッチは冗長化され、各学科棟スイッチとそれぞれ光ケーブルで接続することにより耐障害性を高めている。基幹は 1Gbps×2 の 2Gbps、支線は 1Gbps に高速化されている。

学外ネットワーク網へは、インターネット(SINET)への対外接続を行い、校内 LAN の整備とともに順次高速化を進め 30Mbps に増強した。さらに、安定的な外部接続を確保するために、以下の 3 種類の形態での回線接続を行っている。

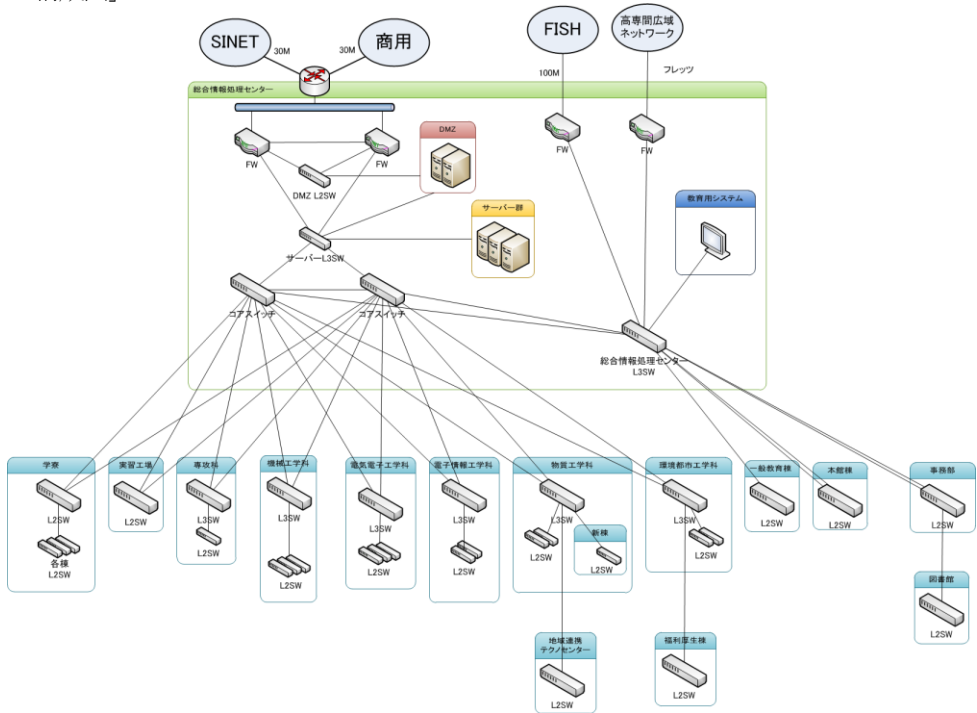
- ① SINET：接続先ノードを福井データセンターとし、回線速度は 30Mbps である。
- ② 商用：SINET の負荷分散及び SINET 障害時のバックアップ(非常回線)を目的にマルチホーム化が実現されている。回線速度は 30Mbps である。
- ③ FISH(福井情報スーパーハイウェイ)：FISH に接続し、福井県内の 6 つの高等教育機関が参加する F レックス活動(互いの ICT 学習資源に容易にアクセスを可能とするプロジェクト)に活用している。回線速度は 100Mbps である。

総合情報処理センターは、校内 LAN 管理体制(資料 8-1-②-2)の基に、情報教育から高度な専門教育まで幅広い ICT 教育の中心を担っている。同センターの教育用電子計算機システムの構成(資料 8-1-②-3)は、サーバ室に認証サーバ 3 台、ファイルサーバ 1 台、ネットワークブートサーバ 5 台の計 9 台の各種サーバを設置し、さらにクライアント端末として、第 1 演習室に 48 台、第 2 演習室に 7 台、第 3 演習室に 50 台、第 4 演習室に 46 台のパソコンを設置し、3 学級が同時に利用可能となっている(資料 8-1-②-4)。これらのクライアント端末は、ネットブートシステムによりサーバ管理されており、利用者は、いつでもどの端末でも同じ環境で利用できる。これらとは別に、学生用のウェブメールシステムを運用している。また、ネットワーク利用時のモラルとマナー教育を重視し、学生の情報活用における倫理観を育成する実践も行っている。

情報セキュリティに関しては、平成 23 年度に情報セキュリティ実施規程(管理規程(資料 8-1-②-5)、推進規程、教職員規程、利用者規程)を整備し、それに基づいての運用を行っており、ファイアウォールの強化と二重化による信頼性の向上や、学内向けサーバの負荷分散システムの構築を行っている。また、コンピュータウィルス対策として、安全な電子メールの送受信を行うための電子メールウィルス除去サーバが設置されている。さらに端末におけるウィルス対策ソフトとして、校内に設置されたウィルス情報サーバから最新のパターンファイルが自動更新されることによる効果的なウィルス駆除等、全校的な対策が施されている。

資料 8-1-②-1

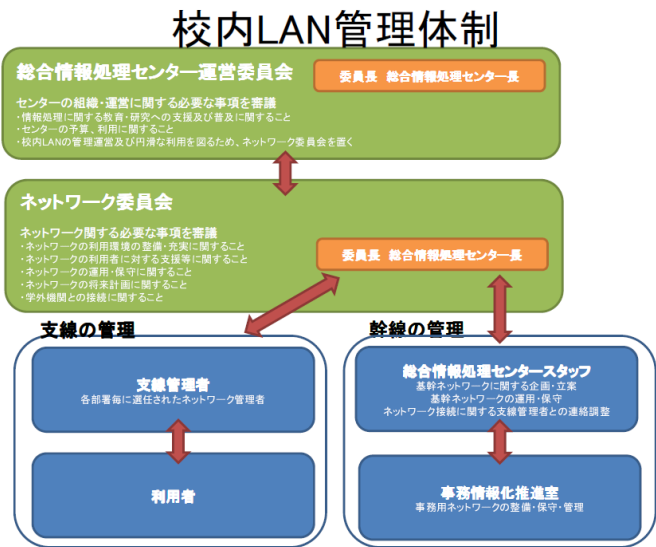
「ネットワーク構成図」



(出典 総合情報処理センター)

資料 8-1-②-2

「校内 LAN 管理体制」

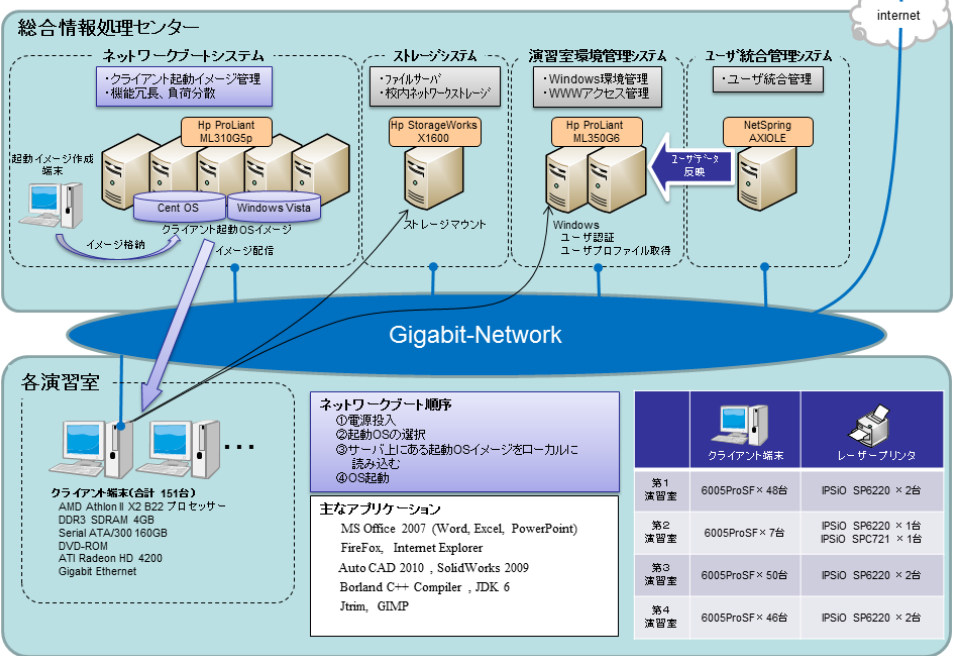


(出典 総合情報処理センター)

資料 8-1-②-3

「教育用システム構成図」

福井工業高等専門学校
教育用電子計算機システム構成図（平成22年3月稼働）



(出典 総合情報処理センター)

資料 8-1-②-4

「総合情報処理センター演習室の時間割（抜粋）」

平成24年度【前期】

曜日	時限	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
月	1	3E 情報処理Ⅱ		5E1 電子情報工学実験Ⅳ	4B コンクリート構造学Ⅰ
	2				5B 構造デザイン
	3	1ALL ものづくり科学			
	4				
	5				
	6				
	7	3M ○言語応用	5M 機械工学実験Ⅱ	3C 情報処理演習	4B 環境都市工学設計製図Ⅳ
	8	使用可能	使用可能	使用可能	使用可能
火	1	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
	2	4E1 電子情報工学実験Ⅲ	使用可能	2E 情報処理Ⅰ	4M 知能機械演習
	3			5B 水文学	
	4	5E 現代制御工学	3M 創造工学演習	4C 情報科学	3B 環境都市工学設計製図Ⅱ
	5				
	6	1F4 コンピュータ科学入門	使用可能	1F3 コンピュータ科学入門	5B 数値解析
	7				
	8				
水	1	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
	2	使用可能		3E1 数値解析	5B 環境保全工学
	3	2C プログラミング基礎	使用可能	5E 制御工学	4B 環境都市工学設計製図Ⅲ
	4			3E1 プログラミング応用	1ALL ものづくり科学
	5	1ALL ものづくり科学			
	6				
	7	使用可能		使用可能	使用可能
	8				
木	1	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
	2	3E1 電子情報工学実験Ⅱ	2M 機械工作実習	2E1 プログラミング基礎	使用可能
	3			4E1 情報構造論	3B 環境都市工学実験実習Ⅱ
	4				
	5	使用可能		4B 環境都市工学実験実習Ⅲ	5B 環境都市工学設計製図Ⅱ
	6	1F2 コンピュータ科学入門	使用可能	使用可能	使用可能
	7				
	8				
曜	時限	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
	1				
	2	2E1 電子情報工学実験Ⅰ	2PS/ES 画像情報処理	4E1 創造工学演習	4M 機械計算力学
	3		使用可能		5B 構造デザイン

(出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/~ip/jikanwari.html>)

「情報セキュリティ管理規定(抜粋)」

福井工業高等専門学校情報セキュリティ管理規程

平成23年 4月18日規則第 6号

目次

- 第1章 総則（第1条―第7条）
- 第2章 情報システムの利用（第8条―第10条）
- 第3章 情報の取扱い（第11条―第14条）
- 第4章 物理的及び環境的セキュリティ対策（第15条―第21条）
- 第5章 教育（第22条・第23条）
- 第6章 情報セキュリティインシデント対応及び非常時行動計画（第24条―第28条）
- 第7章 調達、ソフトウェア開発及び外部委託（第29条―第40条）
- 第8章 違反と例外措置（第41条・第42条）
- 第9章 評価、見直し及び監査協力（第43条―第47条）
- 第10章 その他（第48条―第50条）

第1章 総則

（目的）

第1条 この規程は、独立行政法人国立高等専門学校機構福井工業高等専門学校（以下「本校」という。）における情報セキュリティ対策に関する全般的事項および管理的事項を定めることにより、情報セキュリティの維持向上に資することを目的とする。

2 情報セキュリティ対策に関する専門的及び技術的な事項については、別に定める情報セキュリティ推進規程（以下「推進規程」という。）による。

（定義）

第2条 この規程における用語の定義は、この規程で定めるものを除き、独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー対策規則（機構規則第98号。以下「対策規則」という。）及び独立行政法人国立高等専門学校機構情報格付規則（機構規則第99号）の定めるところによる。

（適用範囲）

（出典 本校規則集）

（分析結果とその根拠理由）

本校の十分なセキュリティ管理の下、インターネット及び電子メール等の利用を含め、学生のネットワーク利用環境が整備されている。特に、総合情報処理センター演習室では151台の端末を整備し、学生のICT教育支援、インターネットを利用した教育・学習環境の充実を図っている。さらに、総合情報処理センターでは、有害なサイトを排除できるコンテンツフィルタを導入し、教育的な配慮を行っている。電子メールの利用に関しては、

全ての学生にメールアカウントを交付し、利便性の高いウェブメールで運用している。現状ではこれらの環境設備が有効に活用されており、教育及び学生のニーズを十分満たしている。

今後、校内ネットワーク関係設備更新の予定があり、基幹サーバ、基幹・支線ネットワーク及び外部接続の高速化、増強化の実現を目指している。

観点 8-2-①： 図書、雑誌、視聴覚資料、電子ジャーナル、学術文献データベース等、教育研究上必要な資料が系統的に整備され、有効に活用されているか。

(観点にかかる状況)

本校の図書館では、蔵書約 94,500 冊の図書（内洋書 9,000 冊、教育後援会文庫 11,100 冊）、1,800 種の雑誌（内洋雑誌 320 種）及びネットワークにより閲覧可能な約 2,000 タイトルの電子ジャーナル等が整備され、学科の種類、教員数及び学生数に応じた図書、雑誌、視聴覚資料、電子ジャーナル等、教育研究上必要な資料（資料 8-2-①-1、資料 8-2-①-2）が利用可能になっており、高等専門学校設置基準に基づく整備がなされている。

平面図（資料 8-2-①-3）に示すとおり、学生及び教員のニーズに対応した教科書コーナー・洋書コーナーのほか、ものづくり教育や J A B E E 関連資料も独立コーナーとして整備し、有効に活用されている。

閲覧室には、各種情報検索及びインターネットが利用できるパソコンを 14 台設置し、図書館ホームページ（資料 8-2-①-4）からは、ScienceDirect・ACS 等の電子ジャーナルや JDream2・MathSciNet の学術文献データベースも自由に利用が可能となり、有効に活用されている（資料 8-2-①-5）。

また、資料を容易に探すことができる蔵書検索システム（OPAC）（資料 8-2-①-6）を提供し、ネットワークによる学内外からの検索も可能にしている。

オーディオルームには 40 インチテレビモニター及びブルーレイディスクプレイヤーをそれぞれ 2 台設置し、利用者ニーズに即した視聴覚資料の有効活用を図っている。

また、本校の約 10 万冊の蔵書を含む福井県内図書館の蔵書約 600 万冊を一括で検索ができる「福井県内図書館総合目録」（横断検索システム）も、利用者に提供している。

実際の業務については、図書館業務機能及び蔵書検索機能をトータル的に備えた図書館システムを導入し、図書館資料の発注・受入、貸出・返却・予約、蔵書点検、学外文献複写等の業務を効率よく行うことが可能となっている。また、図書館出入口には、ブックディテクションシステム（図書無断持出防止装置）を設置しており、図書の紛失防止に効果を上げている。

図書館利用促進の観点からは、図書館の開館時間を、月曜日から金曜日までは午前 8 時半から午後 8 時まで、土曜日は午前 9 時から午後 4 時 30 分まで利用可能にし、学生及び教職員の教育研究活動の利便を図っている（図書館利用統計（資料 8-2-①-7））。

設備面からは、閲覧室が図書館の 2 階にあるため、階段にオートリフター（電動昇降装置）を設置して、身障者利用に効果を上げている。

また、閲覧室の全照明を節電効果の高い LED 蛍光灯に交換し、また冷暖房効率を高める効果のあるシーリングファンを 5 台設置して、省エネルギー化及び環境面への配慮を図っている。

また、電動式集密書架の設置により、図書収容能力冊数は約 12 万冊となっており、年々増える蔵書にも対応可能となっている。

資料 8-2-①-1

「図書館の蔵書数（平成 23 年 3 月 31 日現在）」

	図書(冊)	教育後援会文庫(冊) (文庫・新書本)	雑誌(種類)	視聴覚資料(点)
和 書	74,266	11,122	1,485	—
洋 書	9,077	8	316	—
合 計	83,343	11,130	1,801	5,373

(出典 学生課)

資料 8-2-①-2

「受入図書数内訳及び蔵書構成」

平成22年度受入図書数

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	計
和書	69	22	30	64	324	264	73	60	46	192	1,144
洋書	0	0	0	5	33	0	0	1	12	0	51
合計	69	22	30	69	357	264	73	61	58	192	1,195

蔵書構成（平成 23 年 3 月 31 日現在）

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	計
和書	7,030	2,850	5,137	5,412	16,411	18,972	893	3,243	3,784	10,534	74,266
洋書	469	358	202	248	3,926	1,557	11	56	1,331	919	9,077
合計	7,499	3,208	5,339	5,660	20,337	20,529	904	3,299	5,115	11,453	83,343

教育後援会文庫

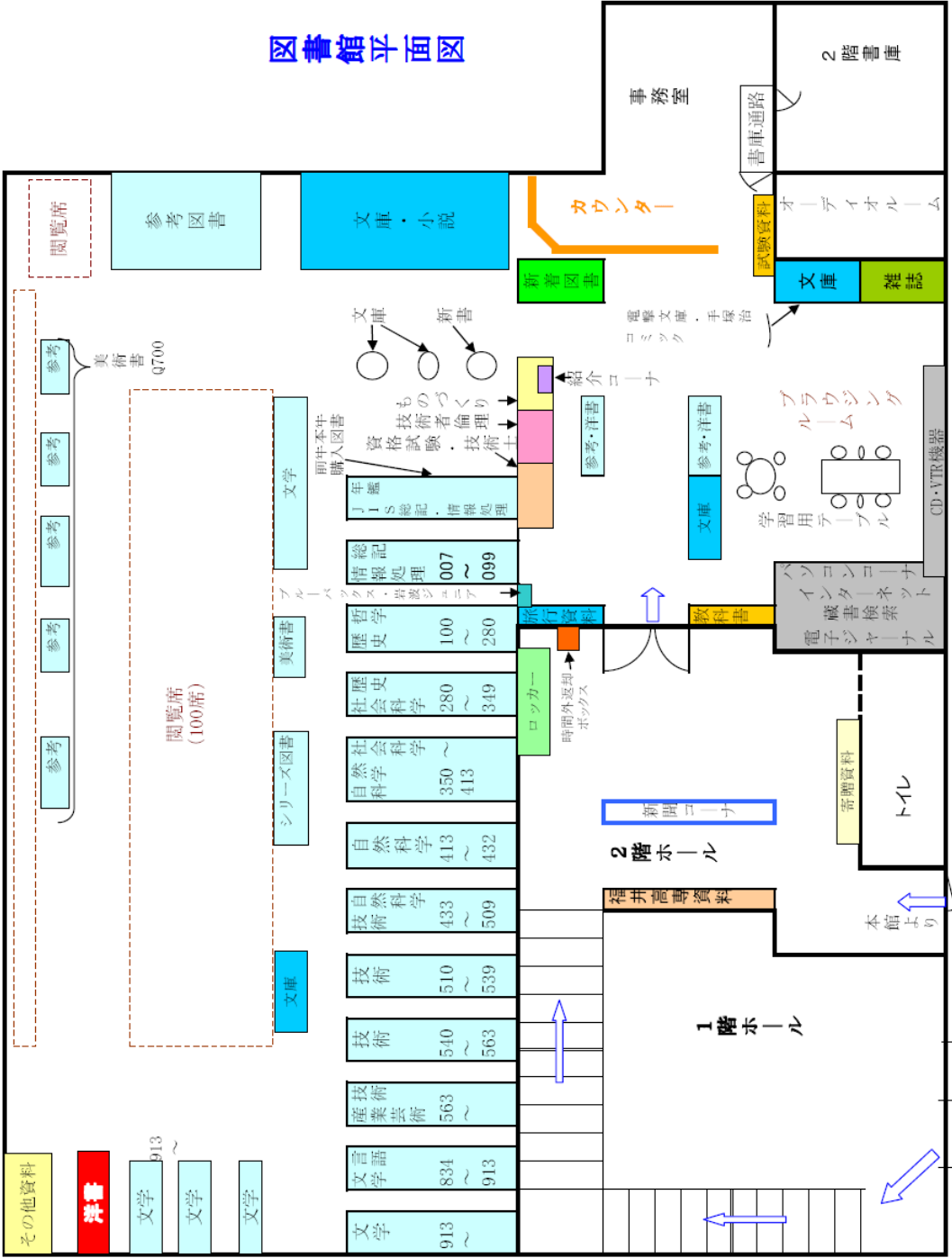
11,130

蔵書合計

94,473

(出典 学生課)

「図書館平面図」



* 文庫は教育後援会文庫です。参考図書とは“美術書”・“辞典類”です。

(出典 学生課)

「図書館ホームページ」

福井工業高等専門学校図書館

Fukui National College of Technology LIBRARY

HOME >

開館カレンダー

利用案内

学外者利用方法

福井県内図書館検索

リポジトリ

福井県地域共同リポジトリ

リポジトリの登録について

資料の検索

学内所蔵の検索 (OPAC)

総合目録データベース Webcat

総合目録データベース Webcat+

学術コンテンツ・外部 GeNii

Scirus(科学技術専用検索エンジン)

PubMed(医学・生物文献データベース)

Google Scholar (文献データベース)

EJ・DB (学内専用)

電子ジャーナル

MetCalMet

● マイクロソフト PC用インストールメディアを販売します。(2010.8.9)【学内用 学外用】

● 【関連リンク】をリニューアルしました。(2009.09.16)

● リポジトリの項目【福井県地域共同リポジトリ】、【リポジトリの登録について】を追加しました。(2009.06.08)

● 福井県地域共同リポジトリに参加しました。(2009.03.27)

● 福井県立図書館において相互協力協定を締結しました。(2008.12.17)

● 2008年9月1日「出版社へのリンク」を更新しました。(2008.09.01)

福井県内公共図書館・大学図書館 相互貸借

●福井工業高等専門学校図書館の蔵書と県内公共図書館の蔵書約60.0万冊をまとめて一度に検索でき、それらの蔵書を附属図書館カウンターで借用・返却できます。

校友会誌

●校友会誌「青樹」第42号

●校友会誌「青樹」第41号

●校友会誌「青樹」第40号

紹介コーナ

●「真珠の耳飾りの少女」について

各種依頼 (申込)

●図書購入依頼 (学内専用)

●文献複写・図書貸借 (学内専用)

福井県立図書館 市立図書館 町立図書館 図書館外部リンク

(出典 本校ホームページ<http://www.fukui-nct.ac.jp/~tosyo/libindex.html>)

「電子ジャーナル統計 (論文閲覧件数)」

月	平成22年度			平成23年度		
	Elsevier	ACS	合計	Elsevier	ACS	合計
4	108	53	161	293	130	423
5	261	81	342	382	212	594
6	265	50	315	209	88	297
7	113	43	156	81	43	124
8	51	42	93	84	35	119
9	166	83	249	106	48	154
10	78	56	134	100	69	169
11	167	65	232	205	73	278
12	141	49	190	55	48	103
1	129	62	191	78	65	143
2	114	20	134	76	55	131
3	52	48	100	105	51	156
計	1,645	652	2,297	1,774	917	2,691

(出典 学生課)

資料 8-2-①-6

「蔵書検索システム」



(出典 本校ホームページ)

http://libopac-c.nagaokaut.ac.jp/opac/opac_search.cgi?kslist=021&kscode=021&selfcode=021&smode=1

資料 8-2-①-7

「入館者及び貸出冊数 統計」

月	平成22年度			平成23年度		
	開館日数	入館者数	貸出冊数	開館日数	入館者数	貸出冊数
4	23	4,729	1,083	25	4,772	1,013
5	23	5,410	956	23	5,827	990
6	26	6,990	1,127	26	6,770	974
7	26	6,588	1,059	26	6,957	862
8	18	2,916	598	17	2,474	493
9	17	1,784	339	16	1,556	343
10	23	4,770	813	23	4,350	852
11	24	5,283	885	24	5,617	566
12	20	4,231	882	20	4,200	759
1	20	3,919	656	20	4,088	612
2	23	5,497	627	23	5,721	633
3	20	2,259	339	20	2,243	241
計	263	54,376	9,364	263	54,575	8,338

(出典 学生課)

(分析結果とその根拠理由)

図書館では、約10万点の資料を分別・配架し、利用者の便を図っている。図書館資料に貼付したバーコードにより、図書の貸出・返却・予約、館内利用のみ許可している視聴覚資料の閲覧・返却を迅速に処理でき、利用状況も瞬時に把握でき、新着資料案内・貸出資料の延滞者への督促や利用状況等の統計処理等も遅滞なく実施されている。学術文献データベースである蔵書検索システム、ScienceDirect・ACS等の電子ジャーナル、JDream2・MathSciNetは、図書館ホームページからアクセス可能となっており、図書館利用者の学習・教育研究に効果的なツールとなっている。また、教員研究室のパソコン等から資料の発注・文献複写の依頼が可能であり、文献の入手が円滑かつ迅速にできるようになっている。さらに、ブックディテクションシステム（図書無断持出防止装置）の導入により、所在不明となる図書が減少している。

以上のように、学生及び教員が、学習教育のため適切に利用できるよう整備され、有効に活用されている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

本校の施設・設備は毎年施設整備委員会を中心に自己点検が行われ、常に適切な学習環境を整備し続けている。また、既存施設・設備は有効に活用されている。

学内情報ネットワークに関しても、情報処理センターを中心として十分なセキュリティ管理のもと、高速かつ安全な最先端のICT環境を維持するよう、常に努めている。

図書館に関しても、学習に必要な図書が適切に備えられ、また利用しやすい環境を提供している。

(改善を要する点)

老朽化の進んだ建物のさらなる改善が求められる。

(3) 基準8の自己評価の概要

本校の校地、各種施設（実験・実習室、教室、演習室、図書館棟、体育館、運動場など）は、高等専門学校設置基準の第6章「施設および設備等」の条件を満足しており、また本校の教育目標および教育課程に対応している。また、バリアフリーおよび環境にも配慮された構成になっている。また、高速な校内LANが整備され、校内全域から教育及び各種業務のために快適に利用することが可能となっており、ウィルス対応ソフトやネットワーク管理体制の整備により、必要な情報セキュリティの確保も十分に行われている。

図書館については、教育研究に必要な図書、学術雑誌が十分に整備され、平成24年3月末現在の蔵書数は約10万冊となっている。図書以外にも、充実した電子ジャーナルや視聴覚資料なども備えられ、教育研究に必要な資料も十分に整備されている。また、開館時間の延長（土、日の開館）や蔵書検索サービスの提供など、常に利用しやすい環境整備がなされている。

このように、本校の教育課程に対応した施設・設備が十分に整備され、有効に利用されている。また、情報ネットワークも、適切なセキュリティ管理のもとで運営され、適切なICT環境を提供している。また、図書館を中心として、教育研究に必要な図書、学術雑誌、資料の整備が十分に行われている。